

製作ノート

leprechaun

先週末に「花言葉」と「鏡の国のアリス」を出版。

「鏡」のほうは、「不思議」を終えてすぐにかかろうと思ったものの、モチベーションが続かずにほったらかしに。「不思議」に比べると、駄洒落や論理パズルが多くてファンタジーっぽさに欠ける、というのも手が出なかった理由のひとつ。

アリスはヴィクトリア朝に書かれたものだが、当時の風習というのは結構、現在に影響を与えている。「花言葉」もその一つ。

日本だと短歌でメッセージをやりあうのが雅とされたが、当時は花でそれをやるのがエレガントとされた。その火付け役となったのがケイト・グリナウェイの「花言葉」。爆発的に売れて、海賊版まで横行したという。

スイカ・・・「あなたはデブです」などという花言葉(?)まであって、訳してみるとおもしろい。本当はそれぞれの花の写真まで載せる予定だったけども、さすがに力尽き。